

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

1 四半世紀を迎えた五万石藤まつり第25回将棋まつり

5月6日(日)、岡崎市出身の石田和雄九段の尽力で開始された岡崎将棋まつりも、今年で25年の節目を迎えました。岡崎市、石田九段、鈴木宏彦さんなど関係者のご



努力が重なり合って非常に息長い将棋イベントとして発展し続けて来ました。

藤井聡太七段の活躍の影響の出始めた昨年から、将棋大会(一般A~D、小学生低学年及び高学年の6クラス)の参加者は急激に増え始めました。また、昨年は藤井七段(当時は四段)が公開対局に登場したので定員の数倍の申し込みがありました。今年も将棋大会、指導対局及び懸賞詰将棋は昨年並み、公開対局も数倍の狭き門でした。さらに加えて石田九段、杉本昌隆七段などを中心としたトークショーにも長蛇の列ができました。将棋大会は相変わらず人気ですが、最近の傾向として、トークショーなど将棋を指さないファンの増加が将棋イベントへの参加者数を増加させています。

今年の参加棋士は、石田和雄九段、中村太地王座、豊島将之八段、中田章道七段、杉本昌隆七段、勝又清和六段、佐々木勇氣六段、瀬川晶司五段、増田康宏五段、谷口由紀女流二段、室田伊緒女流二段、中澤沙耶女流初段の豪華なメンバーでした。

中でも中村太地王座VS豊島将之八段の公開対局は将棋ファンの注目の的でした。また、女流対決で室田伊緒女流二段VS中澤沙耶女流初段、天才新鋭対決で佐々木勇氣六段VS増田康宏五段の公開対局も行われました。

大会の上位入賞者は以下の通りです。

	優勝	準優勝	第三位
A級(三段以上) 48名	熊谷 安剛 (岩国市)	山田 那博 (岡崎市)	河合 勇樹 (幸田市)
B級(初・二段) 46名	富増 将斗 (名張市)	田中 真一 (知立市)	白木 大輔 (豊橋市)
C級(1~3級) 60名	八田 勝友 (新城市)	西部 雅樹 (尾張旭市)	長谷川 翔平 (豊田市)
D級(4級以下) 61名	榎本 武 (豊田市)	久保田 竜児 (浜松市)	中島 桂 (豊川市)
高学年 88名	梶川 宗継 (津市・5年)	近藤 俊介 (長久手市・5年)	古野 知典 (瀬戸市・5年)
低学年 82名	大草 歩睦 (名古屋市・3年)	山中 惇史 (安城市・2年)	清水 太陽 (みよし市・2年)

2 久しぶりの名古屋での名人戦対局

5月29日(水)～30日(木)、第76期名人戦の第5局が名古屋市中区の大須・万松寺にて開催されました。名古屋開催は久しぶりということで、東海地域の将棋ファンには大きな期待を以って迎えられたと感じています。

28日(火)には万松寺近くのローズコートホテルにて名人戦の前夜祭が開催され、関係者も驚く約450名の参加がありました。これに報道陣も加わり部屋中が参加者の熱気で息苦しさを感じずるほどでした。佐藤天彦名人及び羽生善治竜王との写真撮影には約250名の長蛇の列ができました。ファンサービスとしては素晴らしい企画ですが、対局前夜の両対局者の負担を考えると少し心配をしてしまいます。最近の前夜祭及び解説会の特徴は、やはり将棋は指さないけれど熱烈な女性将棋ファンの増加です。このためそれぞれの催しが非常に明るくなり、慣れない方も参加しやすくなったのではと思います。

解説会も2日間にわたって、ローズコートホテルと万松寺の二会場で準備されましたし、商店街の協力で静かな対局も確保されました。本当にこのような商店街の真ん中でのタイトルマッチ開催は珍しいことで、関係者の皆さんのご苦勞は大変だったと思います。

将棋の方は佐藤名人が得意形で今シリーズ初めての後手番勝ちを収め、対戦成績を3勝2敗として名人防衛まであと1勝としました。

3 蒲郡発！港の見える会場からの熱戦譜

蒲郡ふれあい将棋名人戦が5月27日(日)に蒲郡市三谷公民館で開催されました。この会場は三谷漁港が目の前に広がり、沖合には悠然と滑走するヨットが多くみられる自然環境に恵まれた位置にあります。

さて、今回も気合の入った白熱した戦いがありました。予選を勝ち抜き決勝トーナメントに入りますと一層緊張感が高まります。予選と違い負けは一度たりとも許されません。

突然、手が上がりました。すぐ駆けつけます。「二歩」でした。二歩は当然反則なのですが難しい判断に迫られました。観戦者からの指摘です。今回2回出くわしたのです。結論、再試合をお願いさせていただきました。また、ご年配の方です「これ飛車を打ったつもりだったがのん……」王手をしたつもりが金を打ったのです。当然王手にはなりません。指し手を戻すトラブルが3回もありましたがこれは致し方ありません。対局途中で「この手のほうがよかったのん」余裕で相手が指し終えてからの講釈です。しかし、その後、同じような局面に出くわすのです。ヒントになってしまいました。三味線もうまいのですが人生経験豊かなご年配の方にたまにある微笑ましい光景です。

今回は海からの風がさわやかで、会場内の熱気を和らげてくれましたが、反面、多くのトラブルに鬱々になりそうでした。次の皆さんが入賞されました。



棋道師範 小田賢一

	優勝	準優勝	第三位	敢闘賞
Aクラス 15名	富増 将斗 (名張市)	松岡 祐貴 (幸田町)	岡田 栄生 (豊川市)	大村 彰一 (幸田町)
Bクラス 8名	三浦 正男 (蒲郡市)	星野 好則 (蒲郡市)	後藤 諒大 (豊川市)	麻生 照夫 (蒲郡市)
Cクラス 23名	梅田 涼汰 (蒲郡市)	今泉 拓己 (蒲郡市)	安部 圭矢 (幸田町)	遠山 守 (蒲郡市)

4 第13回市長杯名古屋・小・中学生将棋大会

毎年、5月13日「名東区民まつり」に協賛して将棋大会を開催しております。区内4会場の一つである(学)東邦学園でイベントを開催されました。今回は、天気が下り坂で午後から本降りの条件にも関わらず前回は大幅に上回る参加者と成りました。いわば藤井聡太七段効果でしょうか、棋界としては嬉しい限りです。

9時30分の受付時間前には愛知・岐阜・三重県からの参加者その家族と共ぞくぞくとご来場されました。受付時間を繰り上げ9時10分受付開始。10時からの開会式にも受付が終わらぬ状況でした。クラスは、初心者の部・低学年の部・高学年の部・中学生の部の4クラス、初心者の部以外は引いたくじ番席へ。



会場は対局前の緊張した雰囲気の中、開会式を始めました。主催者挨拶に、谷川九段の名言集から「普段は自分が一番弱いと思って指し、大会では自分が一番強いと思って指す」又、将棋の基本「三手の読み」から良い手を発見し下さいと挨拶。来賓の愛知県支部連合会・理事・鬼頭孝生棋道師範・審判長の挨拶の後 谷口将棋指導員からルール説明、審判長の合図で一斉に熱い戦いがはじまりました。

初心者の部は参加資格で全員初参加者ばかり、覚えた戦法で対戦していました。昨年の初心者の部から低学年の部に参加へ、棋力の向上を得てクラスを替へて多数参加してくれました。付き添いの家族は心配そうに遠くから我が子の対局を見守っている様子、結果が気に成りませぬ。初心者と低学年の部は時間を気にせず指して欲しいと対局時計なしとしました。初心者はスイス式対局とし、低学年以上予選はリーグ戦対局・午後からは本戦トーナメント式としました。高学年の部・中学生の部は時間を上手に使い練磨した成果をじっくりと指している模様でした。

11時、お招きしたプロ棋士・安用寺孝功六段・島本亮五段が来訪され対局中断してご挨拶を頂き、直ちに午前中の部の指導対局を開始、予選敗退者が両先生を10面の席で待ち構えているところへ開始。初心者の部の会場では今井絢奨励会員の指導対局を午前11時から始めました。昼食後、両先生・今井奨励会員は指導対局に入り、鬼頭師範・谷口将棋指導員も加わり多くの参加者に指導対局を実施致しました。感想戦ではプロの先生からワンポイントの助言を頂き良い経験と将棋の楽しさを体験したものと思います。プロ棋士・棋道師範・将棋指導員との対局後、認定された級位証で自分の棋力が判り今後の励みに成った事と思います。

各クラス順調に推移し、熱闘の結果入賞者も決定、無事に表彰式を終え熱く楽しい戦いの1日の幕を閉じました。

名古屋と金クラブ支部・棋道指導員 後藤克義

	優勝	準優勝	第三位
中学生の部 47名	井口 雅輝 (千種区・2年・と金)	丹羽 将太 (江南市・2年)	加藤 慎士 (岐阜県可児郡・2年)
高学年の部 106名	野村 權 (守山区・4年・と金)	住吉 治志 (多治見市・6年)	小島 勇弥 (千種区・6年・と金)
低学年の部 65名	神野 来樹 (関市・2年)	華房 慶大 (西区・3年)	小島 瑞葵 (名東区・2年・と金)
初心者の部 51名	坂井 快行 (小牧市・1年)	黒田 晴真 (守山区・年長)	落合 優朔 (小牧市・4年)

5 西尾将棋大会

西尾支部主催による将棋大会が5月27日(日)、西尾市鶴城ふれあいセンターで行われました(後援 中日新聞社、美容室グラシアス)。

参加数は過去最高の前回より18名減の30名でした。宣伝不足もありますが、小・中学生の参加増により常連参加者の足が遠のいているのも要因と考えられます。

幸い将棋イベントの開催依頼が多い中、レベル別の将棋教室・大会を行い、級位者のレベルを上げるのが今後の課題です。わくわくドキドキする大会を続けていきます。

入賞者は以下の通りです。



日本将棋連盟西尾支部 大阪徹二

	優勝	準優勝	第三位
A級 6名	青山 浩 (豊田市)	京 文雄 (岡崎市)	杉浦 彰 (西尾市)
B級 6名	高市 哲志 (西尾市)	高橋 与四二 (安城市)	伊藤 猛史 (西尾市)
C級 6名	酒井 那月 (岡崎市)	中野 常雄 (岡崎市)	川嶋 脩真 (西尾市)
小学生 12名	小田 彰吾 (東海市)	岡田 桜大 (西尾市)	中根 由希菜 (岡崎市)

6 第3回名城大学杯将棋大会

- (1) と き 平成30年6月17日(日) AM9:00~受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス
名古屋市東区矢田南四丁目102番9
- (3) ク ラ ス 小学2年生以下、小学3・4年生、小学5・6年生、中学生、高校生
- (4) 定 員 300名
- (5) 参 加 費 500円(参加賞あり)
- (6) 申込方法 はがき、FAX、Eメールに、住所、氏名、ふりがな、電話番号、学校名、学年を記入し、〒460-0008名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A FAX 052-253-9442 Eメール shogi_tokai@ybb.ne.jp 日本将棋連盟東海普及連合会「第3回名城大学杯将棋大会」係まで。6月8日(金)必着
- (7) 参加棋士 久保利明王将 杉本昌隆七段 澤田真吾六段 竹内貴浩四段
中澤沙耶女流初段 ほか
- (8) 主 催 名城大学
- (9) 共 催 名城大学スポーツ・文化後援会 日本将棋連盟東海普及連合会
- (10) 後 援 中日新聞社 愛知県・同教育委員会 名古屋市・同教育委員会
- (11) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

7 第14回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦愛知県大会

- (1) と き 平成30年6月23日(土) 小学生の部 AM9:30~受付 AM10:00対局開始

- 平成30年7月7日(土) 中学生の部 PM0:30～受付 PM1:00対局開始
- (2) ところ 中日新聞社北館4階ホール
- (3) クラス ①小・中学校将棋団体戦愛知県大会
愛知県内の同一小・中学校の3名1組
②小学生将棋団体交流戦
小学生の3名1組 (同一小学校でなくても参加できます)
- (4) 参加費 1チーム1,500円
- (5) 申込方法 はがきに、クラス、学校名、選手名、学年、代表者名と電話番号を記入し、〒460-0008名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A 日本将棋連盟愛知県支部連合会まで。小学生の部は6月18日(月)必着、中学生の部は6月25日(月)必着
- (6) 表彰 第三位までに賞状・賞品
小・中学校将棋団体戦愛知県大会の上位2チームが西日本大会に愛知県代表として参加
- (7) 主催 中日新聞社 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (8) 後援 愛知県 愛知県教育委員会 名古屋市 名古屋市教育委員会
- (9) 協力 日本将棋連盟東海普及連合会
- (10) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

8 第59期将棋王位戦第1局大盤解説会

- (1) と き 平成30年7月5日(木) PM2:00～
- (2) と ころ ホテルフォレスト
豊田市岩倉町一本松1-1 電話0565-58-3500
- (3) 対局者 菅井竜也王位 VS 豊島将之八段
- (4) 定員 150名
- (5) 参加費 無料
- (6) 主催 豊田市 豊田市教育委員会 豊田市文化振興団
- (7) 共催 中日新聞社
- (8) 協力 日本将棋連盟豊田けやき支部 トヨタアメニティ

9 第72回アマチュア名人戦愛知県大会及び中日杯争奪将棋大会

- (1) と き 平成30年7月21日(土) AM9:30～受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 中日新聞社北館4階ホール・401会議室
- (3) クラス ①アマチュア名人戦愛知県大会
②中日杯争奪将棋大会
Aクラス (有段者)、Bクラス (1～3級)、Cクラス (4級以下)、
Dクラス (7級以下の小中学生)
- (4) 資格 ①は愛知県在住者、②はどなたでも参加できます。
- (5) 参加費 一般3,000円 (2,500円)、大学生2,000円 (1,600円)、
女性・高校生1,500円 (1,200円)、中学生以下1,000円 (800円)
()内は日本将棋連盟支部会員 (会員証提示にて)
- (6) 表彰 ①優勝者2名に全国大会の出場権と四段免状
②成績優秀者に賞状・賞品
- (7) 主催 中日新聞社 日本将棋連盟東海普及連合会
- (8) 問合せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

10 平成30年度夏休み小学生将棋講座

- (1) と き 平成30年7月31日(火)～8月3日(金) AM10:00～PM4:00
- (2) と ころ とだがわこどもランド 名古屋市港区春田野一丁目3616
- (3) 資 格 将棋の指し方がわかり4日間参加できる小学生
- (4) 定 員 公募40名
- (5) 参 加 費 4,000円(教材費等を含む)
- (6) 申込方法 往復はがきに郵便番号、住所、氏名、ふりがな、学校名、学年、保護者氏名、電話番号を明記し、〒460-0008名古屋市中区栄四丁目12-21第2栄スカイトウン4A 日本将棋連盟東海普及連合会「夏休み小学生将棋講座」係へ。7月17日(火)消印有効
- (7) 主 催 日本将棋連盟東海普及連合会
- (8) 共 催 とだがわこどもランド
- (9) 協 力 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (10) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

11 第18回よいこチビッコ蒲郡将棋名人戦

- (1) と き 平成30年8月5日(日) AM10:00開始
- (2) と ころ 蒲郡市民会館
蒲郡駅南から徒歩5分 電話0533-67-5151
- (3) ク ラ ス 中学生名人戦
小学生名人戦 Aクラス(4年生から6年生)、Bクラス(3年生以下)
はさみ将棋名人戦(3年生以下)
- (4) 定 員 各クラス300名
- (5) 参 加 費 無料
- (6) 表 彰 第三位までに賞状、副賞(盾、お菓子の詰め合わせ)
- (7) 主 催 日本将棋連盟蒲郡支部(蒲郡ふれあい将棋塾)
- (8) 後 援 中日新聞社・蒲郡市教育委員会
- (9) 問 合 せ 日本将棋連盟蒲郡支部 小田賢一 電話 090-6574-6052

12 善通寺夏休みこども将棋講座

- (1) と き 平成30年8月23日(木)～25日(土) AM10:00～PM3:00
- (2) と ころ 善通寺 名古屋市港区秋葉3-63 電話052-303-0331
- (3) 資 格 小中学生
- (4) 定 員 30名
- (5) 参 加 費 3,000円
- (6) 講 師 日本将棋連盟公認将棋指導員
- (7) 申込方法 はがきに氏名、ふりがな、学校名、学年、住所、電話番号を明記し、〒455-0857名古屋市港区秋葉3-63 善通寺「こども将棋講座」係へ。
8月17日(金)必着。
- (8) 主 催 真宗大谷派善通寺 住職 服部大
- (9) 後 援 日本将棋連盟愛知県支部連合会

13 善通寺杯将棋大会

- (1) と き 平成30年8月26日(日) AM10:00～
- (2) と ころ 善通寺 名古屋市港区秋葉3-63 電話052-303-0331

- (3) クラス A級（上級位）、B級（初級位）
- (4) 参加費 500円（中学生以下200円）
- (5) 定員 各クラス24名（先着順）

14 今後の予定

- 6月17日（日） 第3回名城大学杯将棋大会
- 6月23日（土） 第14回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦愛知県大会小学生の部
- 6月30日（土） 第14回とよたふれあい将棋フェスティバル
- 7月3日（火） 第59期将棋王位戦第1局前夜祭
- 7月5日（木） 第59期将棋王位戦第1局大盤解説会
- 7月7日（土） 第14回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦愛知県大会中学生の部
- 7月21日（土） 第72回アマチュア名人戦愛知県大会及び中日杯争奪将棋大会
- 7月22日（日） 第31回全国高等学校将棋竜王戦
- 7月31日（火）～8月3日（金） 平成30年度夏休み小学生将棋講座
- 8月2日（木） 名古屋ふれあい将棋フェスタin松坂屋名古屋店
- 8月5日（日） 第18回よいこチビッコ蒲郡将棋名人戦
- 8月6日（月） 名進研カップ第3回中部オール学生将棋団体戦
- 8月23日（木）～25日（土） 善通寺夏休みこども将棋講座
- 8月26日（日） 善通寺杯将棋大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会ホームページ（http://www.geocities.jp/shogi_tokai/index.html）からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp